

水産物の市況について(令和4年7月及び令和4年8月)

—東京都中央卸売市場における令和4年7月(令和4年6月21日～令和4年7月20日集計)の市況と、
令和4年8月の市況見通し(前月との比較)—

I 令和4年7月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品及び加工品の合計)は、前月からやや減少で推移し、前年同月比でもやや減少で推移しました。卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は、前月からやや強含みで推移し、前年同月比ではかなり強含みで推移しました。

II 令和4年8月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

東京への入荷量はやや減少し、卸売価格はやや強含みで推移すると見込まれます。

「さけ類(塩蔵品・冷凍品)」

東京への入荷量は銀ざけ主体に横ばい、卸売価格は強含みで推移すると見込まれます。

「さば(生鮮品)」

東京への入荷量はやや減少し、卸売価格はやや強含みで推移すると見込まれます。

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

東京への生鮮品の入荷量はやや増加し、卸売価格はやや弱含みで推移すると見込まれます。東京への冷凍物の入荷量はやや減少し、卸売価格は横ばいで推移すると見込まれます。

「あじ(生鮮品)」

東京への入荷量はやや減少し、卸売価格はやや強含みで推移すると見込まれます。

「まぐろ(冷凍品)」

東京への入荷量は全体では横ばい、卸売価格は冷めばち・冷きはだ主体に高値・横ばいで推移すると見込まれます。

「かつお(生鮮品)」

東京への入荷量は減少し、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	7月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
4年	28	1,345	31	1,258	30	1,244
前年	30	1,091	33	1,232	29	1,026

注1: 入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

2: 入荷量は生鮮品、冷凍品及び加工品の合計。

主 要 品 目 の 価 格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	7月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
まいわし(生鮮品)	359	91	95	101
さけ類(平均)	1,402	110	149	146
(ぎんざけ塩蔵品)	1,242	110	138	131
(あきさけ塩蔵品)	895	105	100	124
(べにざけ塩蔵品)	1,498	86	120	121
(さけ類冷凍品)	1,456	112	156	157
さば(生鮮品)	478	113	121	119
するめいか(平均)	856	112	103	129
(生鮮品)	845	115	103	133
(冷凍品)	989	100	108	110
あじ(生鮮品)	562	84	96	93
まぐろ(冷凍品)	2,007	98	122	134
(めばち冷凍品)	1,444	102	121	129
(きはだ冷凍品)	1,437	107	137	154
(くろまぐろ冷凍品)	3,636	100	131	122
(みなみまぐろ冷凍品)	2,446	98	128	125
かつお(生鮮品)	748	134	215	171

注1: 品目により、市場で水産物の大きさ等が異なることから、主要な水産物の価格データを掲載。

注2: 7月の価格は1～20日までの速報値を元に算出。平年とは平成29年～令和3年の加重平均値。

注3: さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ及びアトランティックサーモンが含まれる。

注4: まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ及びみなみまぐろが含まれる。

問合せ先: 水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6618 賛田、西村

直通 03-3591-5613